

2016年12月期 通期決算説明会

GMO CLOUD

STOCK CODE : 3788

代表取締役社長 青山 満
専務取締役 閑野 倫有

当資料取扱上のご注意

本資料に記載された内容は、2017年 2月8日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

1. GMOクラウド会社概要

2. 2016年12月期通期決算概要

3. 事業概況

- ✓ クラウド・ホスティング事業
- ✓ セキュリティ事業
- ✓ IAM事業
- ✓ ソリューション事業

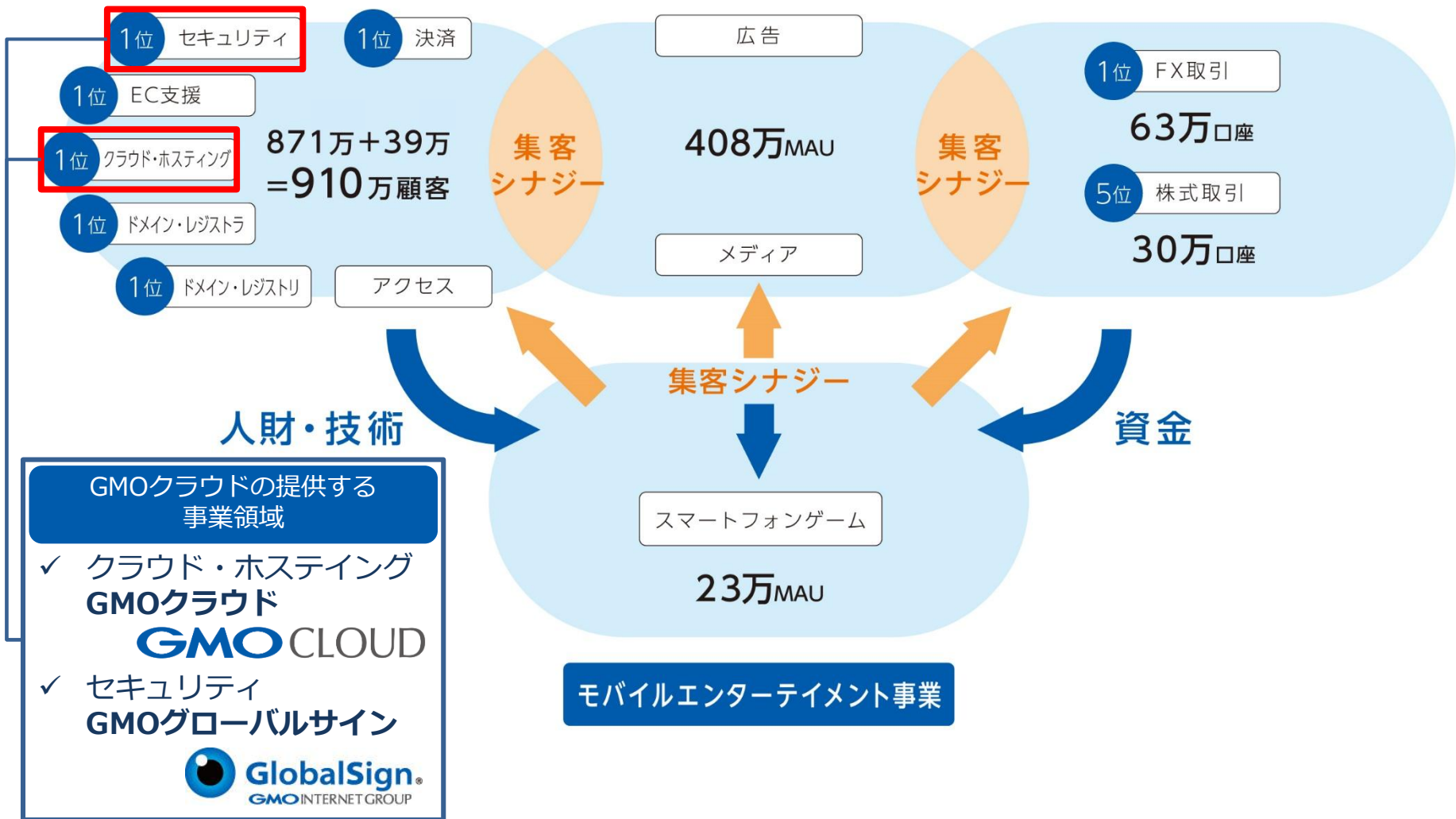
1. GMOクラウド会社概要

会社名	GMOクラウド株式会社
証券コード	3788 (東証一部)
設立	1997年 5 月 株式会社アイル
事業内容	総合インターネットサービスの提供
主力事業	クラウド・ホスティング事業 (クラウドサービス・ホスティングサービス) セキュリティ事業 (電子認証サービス) I A M 事業 (ID一元管理・フェデレーションプラットフォーム) ソリューション事業 (O2Oアプリ、翻訳特化クラウドソーシング、ネットワークエンジン、エネルギーマネジメント、電子契約)
親会社	GMOインターネット株式会社 (東証一部 : 9449) 被持株比率51.3% * 2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	15社 連結13社(国内6社、海外7社) 非連結 2 社 (2016年12月末現在)
従業員数	連結833名 (2016年12月末現在)

インターネットインフラ事業

インターネット広告・メディア事業

インターネット証券事業



【インターネットの安全を支える】

1. 安全なクラウド基盤の提供
(クラウド・ホスティング事業)
2. 電子認証により、通信（取引）を守る
(セキュリティ事業)
3. ID管理により、利用者の入り口を守る
(IAM事業)

【企業のクラウド利用を支える・便利にする】

4. 「O2Oアプリ」「翻訳特化クラウドソーシング」
「ネットワークエンジン」
「エネルギーマネジメント」「電子契約」
(ソリューション事業)

2. 2016年12月期 通期決算概要

クラウド・ホスティング事業

- GMO Z.com社の一部株式譲渡により持分法適用範囲外へ
- 事業効率化のため、ホスティングサービスの統廃合を継続

セキュリティ事業

- GMO グローバルサインを完全子会社化
- マイナンバー制度対応オンライン本人確認サービス開始
- IoT、ブロックチェーン関連ビジネスの協業、実証実験へ

IAM事業

- GMO GlobalSign Oyの全株式の譲渡を実施
- IDaaS正式版サービスを本年12月より提供開始

ソリューション事業

- 電子契約サービス、新たに簡易的な「認印版」の提供開始
- Photon、ゲーム開発のためのソフトウェアに積極投資

2016年 通期連結決算概要[累計比較]

- ✓ セキュリティ事業がエンタープライズ向けで好調推移
- ✓ のれん償却費減少による利益増加

単位：百万円	2015年 通期実績	2016年通期 (修正前予想)	2016年通期 (修正後予想)*	2016年 通期実績	前年同期比
売上高	11,278	12,100	12,100	11,854	+ 5.1%
営業利益	480	660	770	845	+76.1%
経常利益	559	550	700	795	+42.1%
当期純利益	327	327	451	490	+50.1%
1株あたり 純利益(円)	28.10	28.10	39.00	42.47	—

※2016年11月7日に通期業績予想を修正発表いたしました

2016年 四半期別連結決算概要[四半期比較]

- ✓ 3Qのセキュリティ事業の一時売上影響し、前四半期比較はマイナス
- ✓ 特別損失（減損損失、投資有価証券評価損）により親会社帰属利益は減少

単位： 百万円	2015年 4 Q	2016年 1 Q	2016年 2 Q	2016年 3 Q	2016年 4 Q	前四半期比
売上高	2,997	2,829	2,851	3,202	2,971	-7.2%
営業利益	240	167	170	317	189	-40.4%
経常利益	219	119	133	335	206	-38.6%
親会社帰 属利益※	76	20	101	296	72	-75.6%

※ 2015年は四半期純利益として記載

2016年 通期セグメント情報 [累計比較]

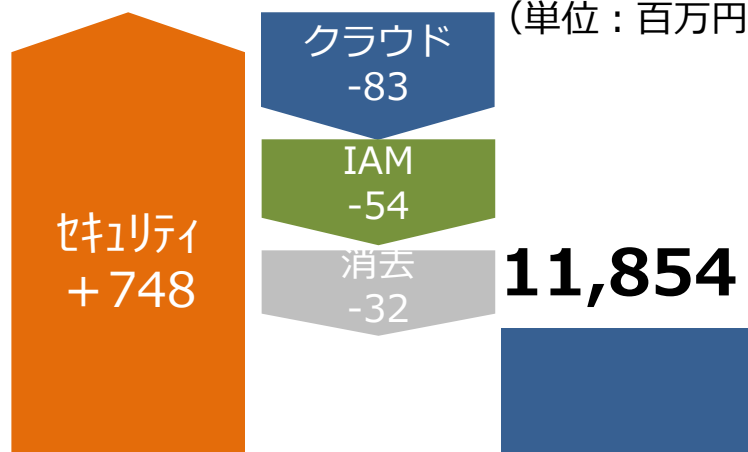
- ✓ クラウド・ホスティング事業は、前期に大型のれん償却終了、営業利益増加
- ✓ IAM事業は、連結子会社譲渡により売上減少、損失幅縮小

売上高		百万円	
セグメント	2015年	2016年	前年同期比
クラウド・ホスティング	5,736	5,653	- 1.5%
セキュリティ	4,401	5,150	+17.0%
I A M	214	160	-25.3%
ソリューション	1,087	1,085	- 0.2%
消去又は 全社	-162	-194	-
連結計	11,278	11,854	+5.1%

営業利益		百万円	
セグメント	2015年	2016年	前年同期比
クラウド・ホスティング	208	358	+71.5%
セキュリティ	832	977	+17.5%
I A M	-473	-419	-
ソリューション	-88	-76	-
消去又は 全社	0	4	-
連結計	480	845	+76.1%

連結売上高 セグメント別増減要因 [年度比較]

(単位：百万円)



11,278



2015年

11,854



2016年

クラウド・ホスティング事業

5,653百万円(前年比 1.5%減)
 ⇒クラウドサービスは堅調推移するものの既存ホスティング減少傾向
 既存ホスティングサービス統廃合中

セキュリティ事業

5,150百万円(前年比17.0%増)
 ⇒海外を中心に売上堅調推移
 エンタープライズ売上増加、
 3Qワンショット売上効果

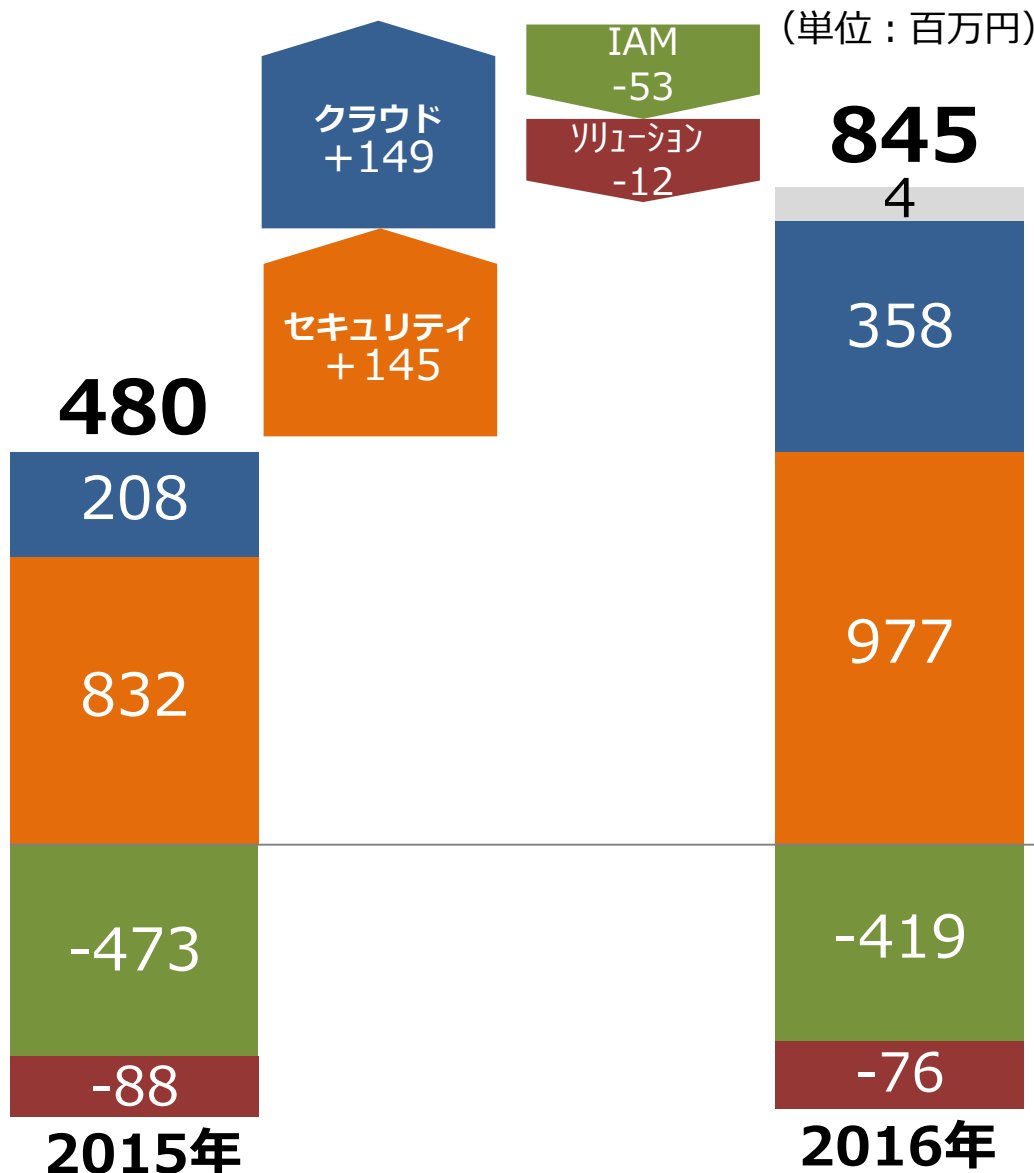
IAM事業

160百万円 (前年比25.3%減)
 ⇒連結子会社譲渡による影響

ソリューション事業

1,085百万円(前年比0.2%減)
 ⇒前年、エナジーモニター事業において初期設定売上発生のため

連結営業利益 セグメント別増減要因 [年度比較]



クラウド・ホスティング事業
 358百万円(前年比71.5%増)
 ⇒売上原価増加があったものの、のれん償却減少、及び販売管理費削減効果により増益

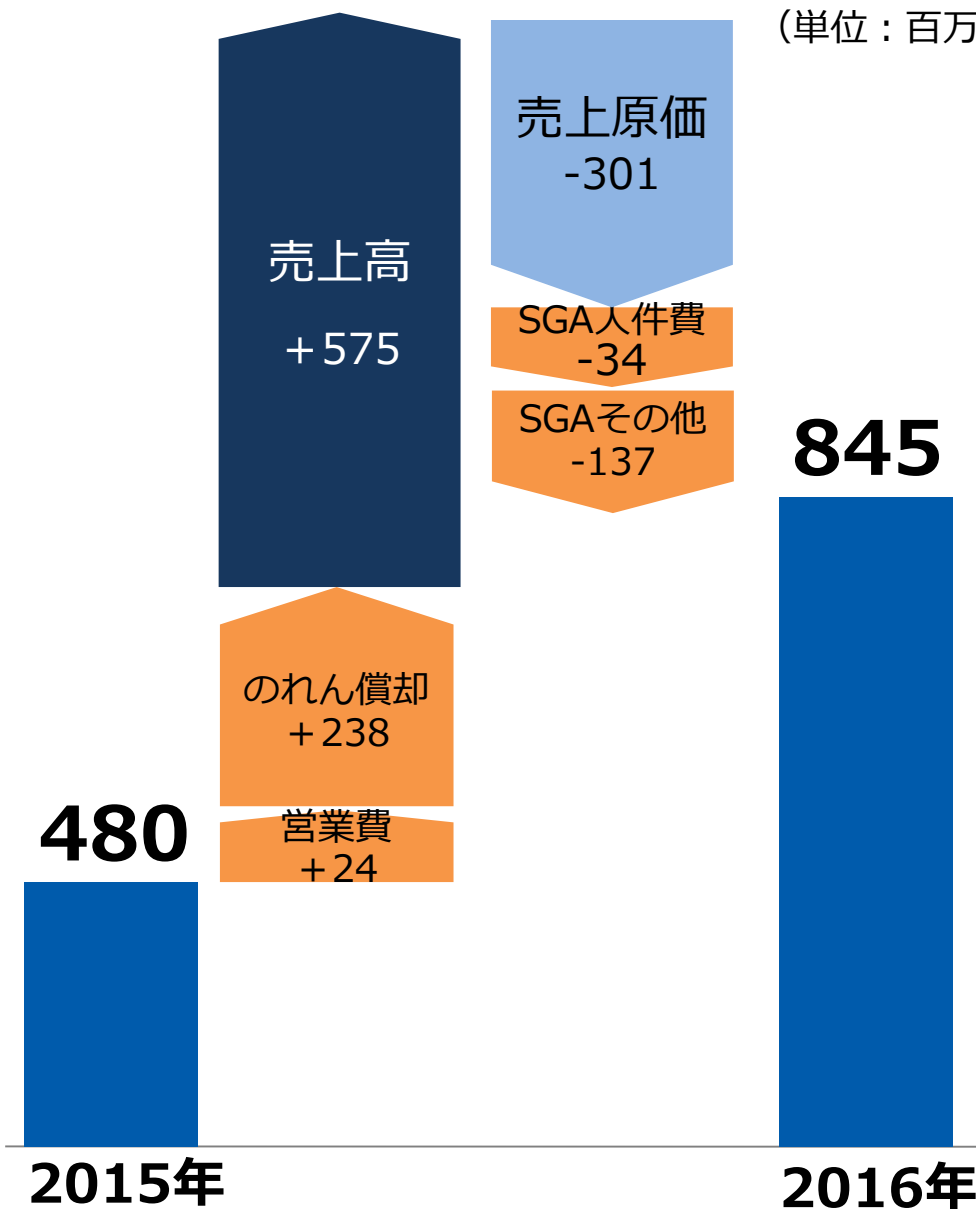
セキュリティ事業
 977百万円(前年比17.5%増)
 ⇒投資、販売管理費の増加あったものの売上増加により増益

IAM事業
 -419百万円
 ⇒連結子会社譲渡によるのれん償却減少により損失減少

ソリューション事業
 -76百万円
 ⇒新規事業開始による費用負担

連結営業利益 科目別増減要因 [年度比較]

(単位：百万円)



売上原価

4,961百万円(前年比6.5%増)
 ⇒クラウド・ホスティング事業の
 カスタマーサポート費用、
 セキュリティ事業の事業拡大に
 伴う原価増加

販売費及び一般管理費

6,046百万円(前年比1.5%減)

- ・クラウド・ホスティング事業
 人件費約139百万円削減
 のれん償却費用約149百万円減少
- ・セキュリティ事業
 事業拡大⇒人件費、営業費用増加
 認証局リニューアルに伴う投資
- ・IAM事業
 フィンランドの連結子会社譲渡に
 伴い88百万円のものん償却費減少

連結貸借対照表

単位：百万円	2015年12月末	2016年12月末	増減率	主な資産増減要因
流動資産	5,620	5,062	-9.9%	✓ のれん減少 ⇒ 連結子会社株式譲渡等による <u>1,028百万円</u>
（現金預金）	3,330	3,170	-4.8%	
（売掛金）	1,379	1,375	-0.3%	
固定資産	3,595	3,240	-9.9%	✓ 関係会社株式減少 ⇒ 持分法会社株式譲渡等による <u>247百万円</u>
（ソフトウェア）	421	448	6.5%	
（のれん）	1,034	6	-99.4%	
（投資有価証券）	326	488	49.8%	
（関係会社株式）	304	57	-81.2%	
資産合計	9,216	8,302	-9.9%	
				主な負債・純資産増減要因
負債	3,774	3,544	-6.1%	✓ 前受金減少 <u>56百万円</u>
（前受金）	1,499	1,442	-3.8%	
（借入＋リース債務）	761	667	-12.4%	✓ 未払法人税等減少 <u>46百万円</u>
純資産	5,441	4,757	-12.6%	✓ 資本剰余金減少 <u>949百万円</u> ✓ 非支配株主持分減少 <u>128百万円</u>
（株主資本）	5,274	4,566	13.4%	
（その他包括利益累計）	6	158	2326%	
（非支配株主持分）	160	32	-79.6%	
負債・純資産合計	9,216	8,302	-9.9%	

キャッシュ・フロー概要

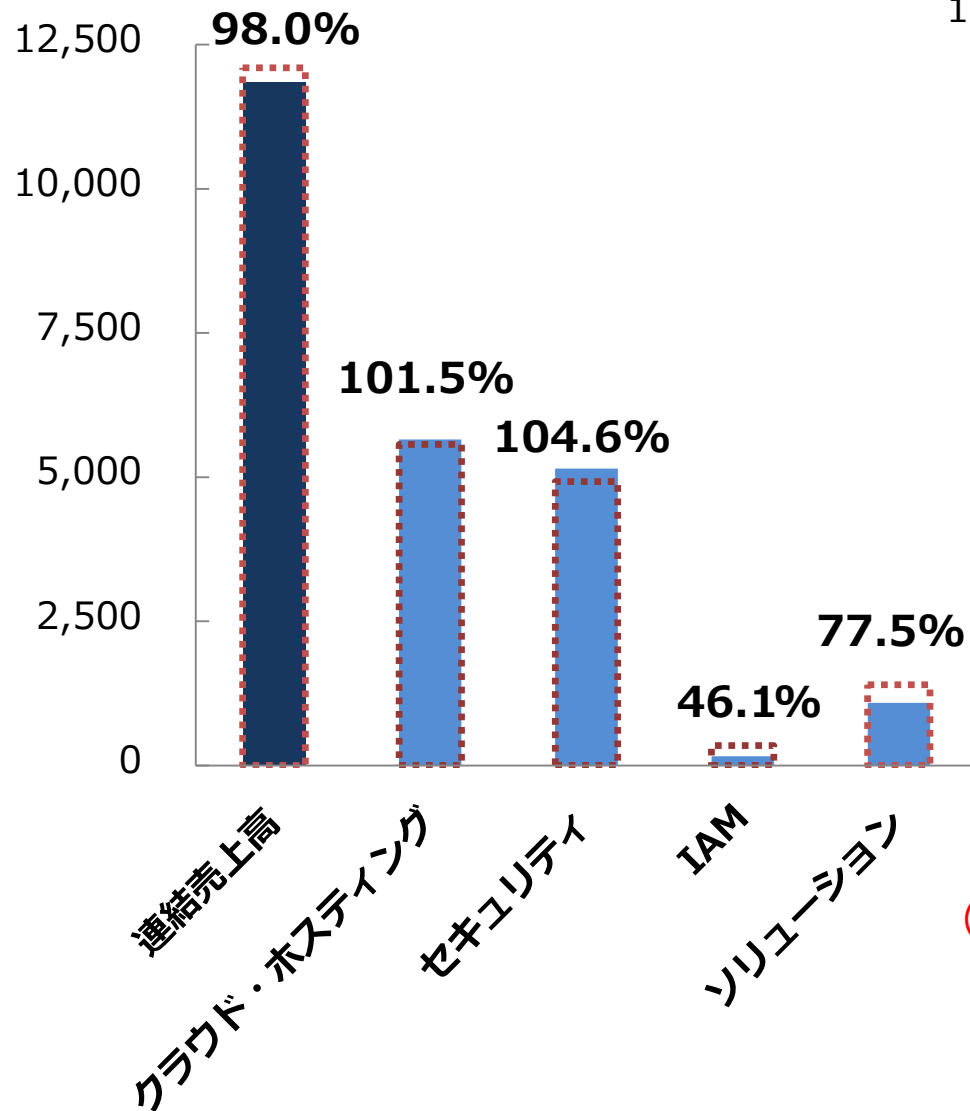
前年同期に比較し、のれん償却額が大きく減少

単位：百万円	2015年 4Q	2016年 4Q	
営業キャッシュ・フロー	1,457	1,530	税前三半期純利益 742百万円 減価償却費 632百万円 のれん償却額 197百万円 前受金の増加 305百万円
投資キャッシュ・フロー	166	-371	固定資産の取得 1,066百万円 関連会社株式 売却収入 151百万円 GlobalSign OY 売却収入 709百万円
財務キャッシュ・フロー	-460	-1,669	配当金の支払額 163百万円 ファイナンスリース 返済 262百万円
現金同等物の増減額	1,073	-609	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,770	3,160	

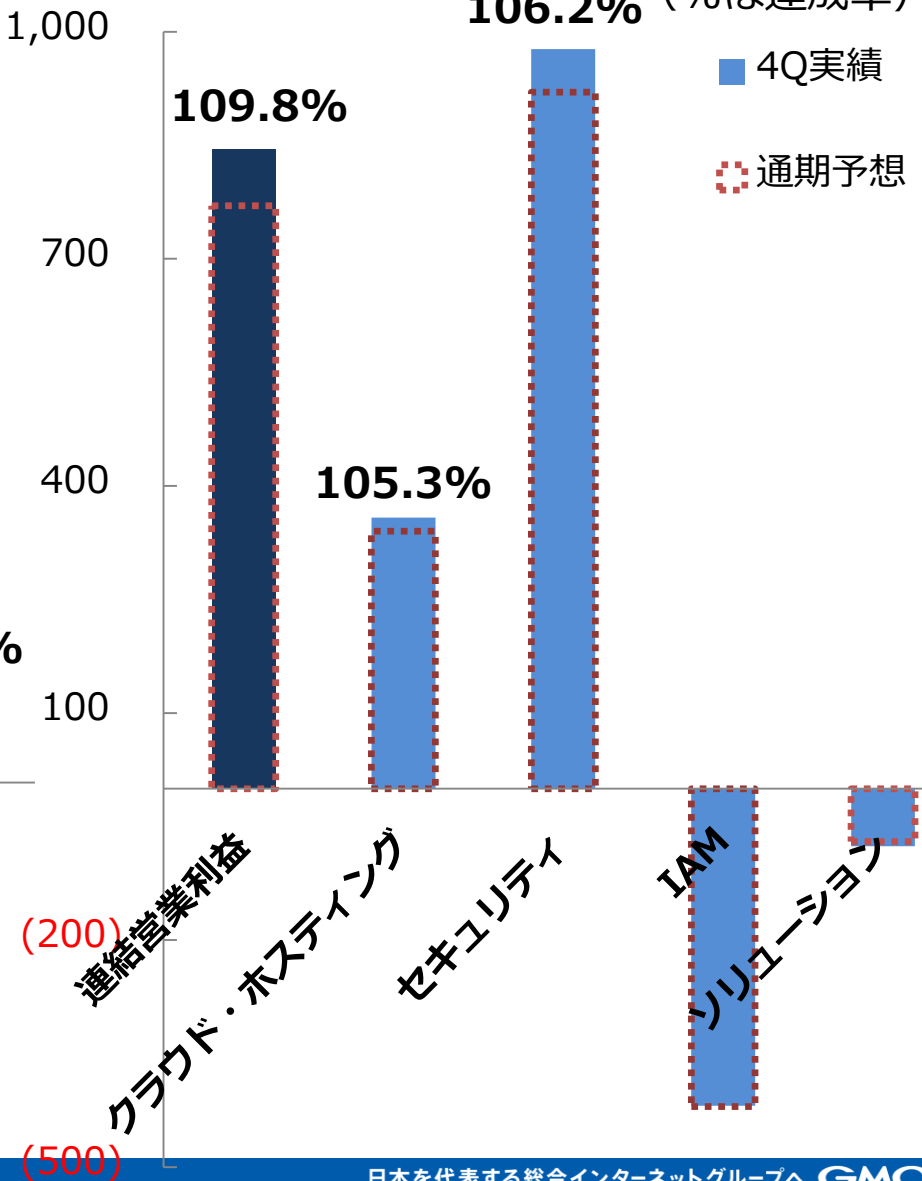
単位：百万円

(%は達成率)

売上高



営業利益



■ 4Q実績
 ○ 通期予想

2017年12月期通期業績予想

セキュリティ事業続伸、IAM事業ののれん消滅に伴い、 連結業績は増収増益を計画

単位:百万円	2016年12月期 (実績)	2017年12月期 (予想)	2016年比
売上高	11,854	12,000	+1.2%
営業利益	845	950	+12.4%
経常利益	795	950	+19.4%
親会社帰属 利益	490	550	+12.0%
1株当たり 純利益(円)	42.47	47.58	-

2017年よりIAM事業をセキュリティ事業に併合

売上高

単位： 百万円	2016年12 月期 (実績)	2017年 12月期 (予想)	2016年比
クラウド・ ホスティング	5,653	5,650	-0.1%
セキュリティ	5,150	5,150※	0.0%
IAM	160	—	—
セキュリティ・ IAM合算	5,310	5,150	-3.0%
ソリューション	1,085	1,300	+19.8%
消去又は 全社	-194	-100	—
連結計	11,854	12,000	+1.2%

セキュリティ事業

- ✓ セキュリティ事業売上予想横ばい
 - ・ 2016年3Qの一時売上分減少
 - ・ GMO GlobalSign Oy社譲渡によるセキュリティ売上、IAM売上減少

ソリューション事業

- ✓ 新規事業の開始に伴う売上増加

※ IAM事業をセキュリティ事業に併合

2017年よりIAM事業をセキュリティ事業に併合

営業利益

単位： 百万円	2016年12 月期 (実績)	2017年 12月期 (予想)	2016年比
クラウド・ ホスティング	358	370	+3.2%
セキュリティ	977	730※	-25.3%
IAM	-419	—	—
セキュリティ・ IAM合算	558	730	+30.7%
ソリューション	-76	-150	—
消去又は 全社	4	0	—
連結計	845	950	+12.4%

※ IAM事業をセキュリティ事業に併合

セキュリティ事業

IAM事業の損失を吸収し、IAM事業と合算では前年比増益計画

【プラス要因】

GMO GlobalSign Oy社譲渡により年間ののれん償却負担約2.8億円減少

【マイナス要因】

2016年3Qの一時売上分減益、GMO GlobalSign Oy社譲渡による売上減少

ソリューション事業

新規事業の開始に伴う投資・費用増加

3. 事業概況 クラウド・ホスティング事業

安全なクラウド基盤の提供

✓ 既存ホスティングサービスのシステム統廃合を推進

- 販促効率向上、管理運用コスト低減効果による利益向上
- 平成30年までに完了計画

✓ Z.com社への出資を減額、持分法適用対象外とする

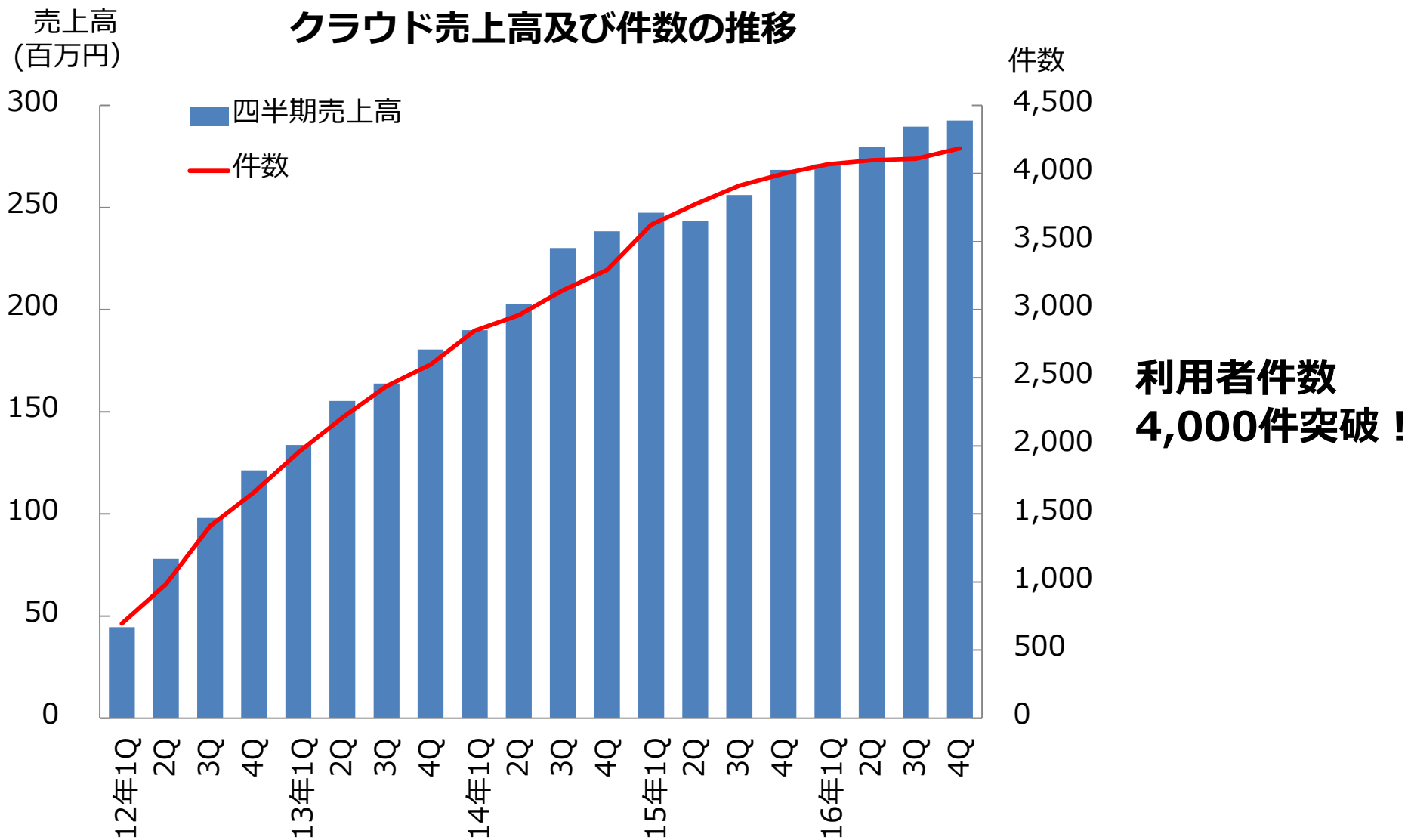
Z.comブランドを通してのグローバル展開は継続



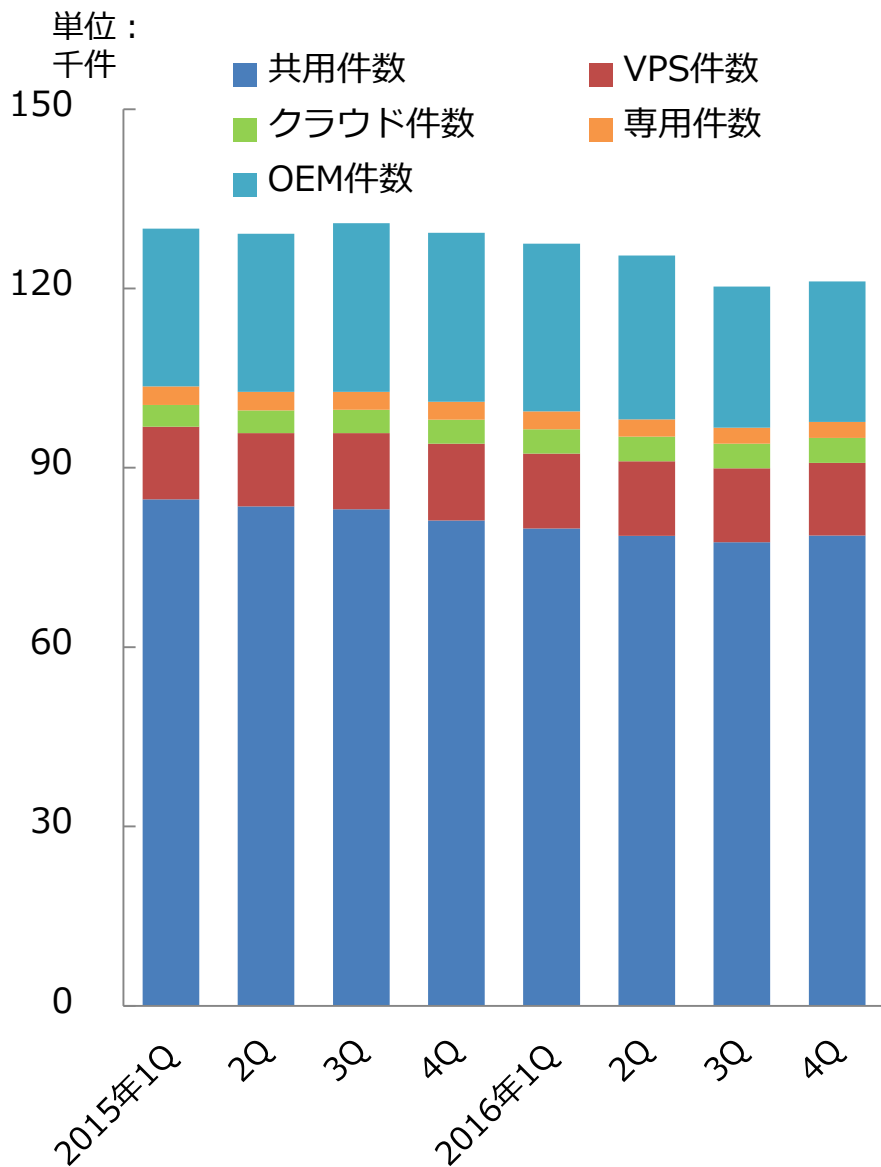
✓ SiteLock, LLCと提携し、 Webセキュリティサービス「SiteLock」※提供開始

※オープンソースのCMSツールで構築されたWebサイトの脆弱性を定期的に診断し、不正な改ざんやマルウェアの検知・駆除の診断サービス

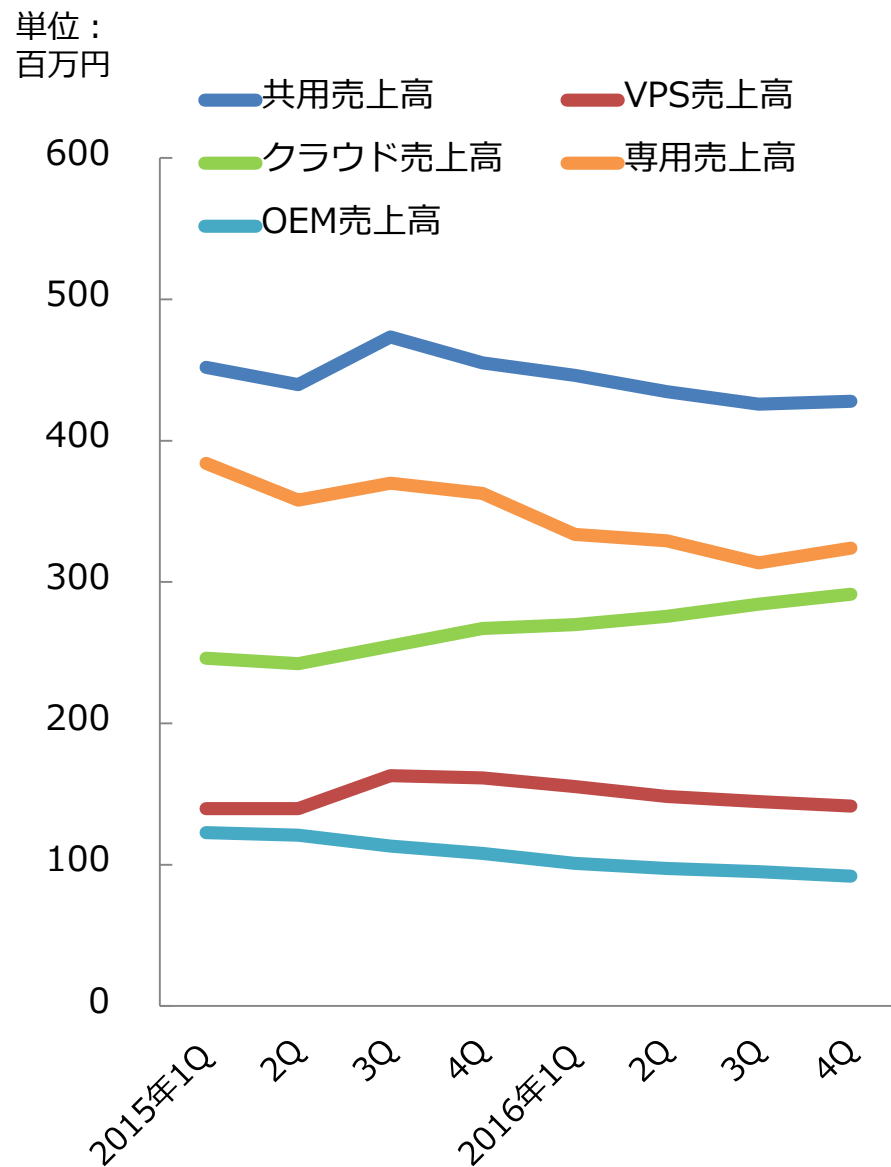




四半期別 商材別件数



四半期別 商材別売上高



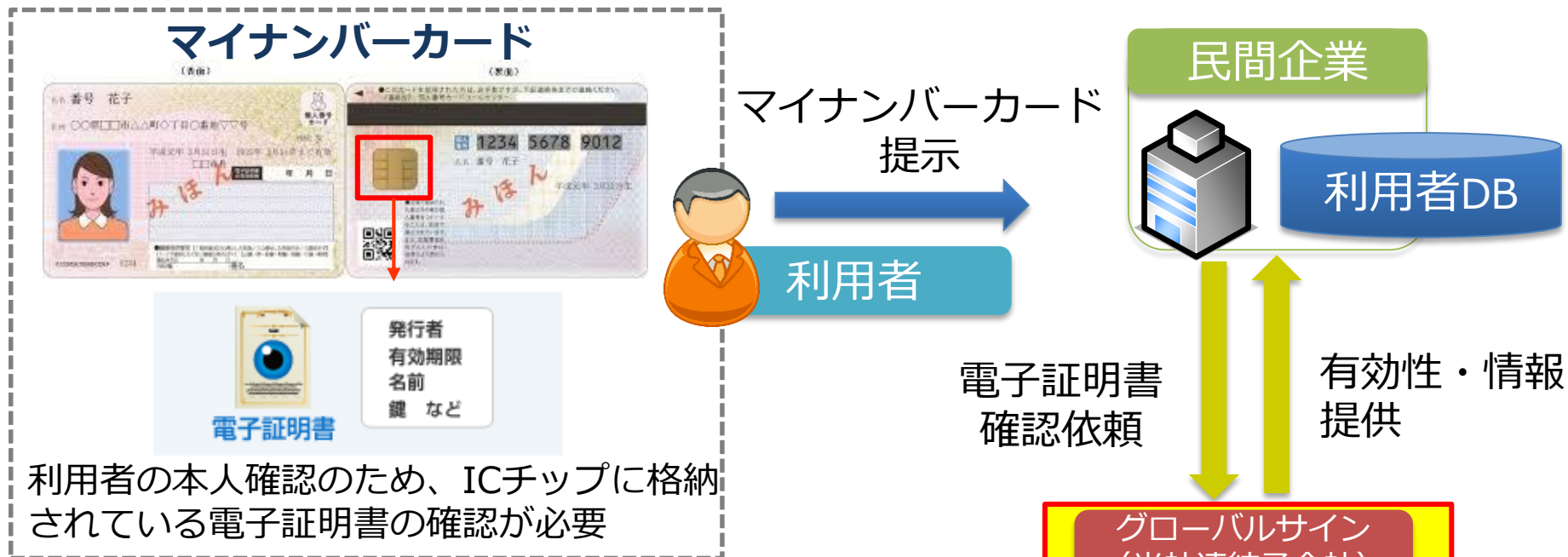
3. 事業概況

セキュリティ事業

電子認証により、通信（取引）を守る

- ✓ **マイナンバー**制度対応オンライン本人確認サービス
- ✓ **IoT**関連への技術投資、協業加速
- ✓ **ブロックチェーン**上の本人確認実証実験開始
- ✓ 昨年引き続き、米国ニュースサイトにより
IoT Top50社に選定
- ✓ GMO グローバルサインを完全子会社化
- ✓ 2017年1月アラブ首長国連邦ドバイに子会社設立

- ✓ マイナンバーカードから本人情報確認を可能とするサービス
- ✓ 総務大臣より本年5月に認可（8社のみ※）を取得、事業を開始
- ✓ 今後、様々な業界で採用されていく見通し



【事例】

証券業界で初！GMOクリック証券の導入決定
 口座開設手続を全てマイナンバーカードで完結
 運転免許証や健康保険証を送付不要

※ 平成28年11月1日現在

総務大臣の認可された事業者のみ確認作業できる

- ✓ IoT環境における通信セキュリティ実現に向け、インフィニオン社の半導体ウェアを活用した相互運用性テストを実施



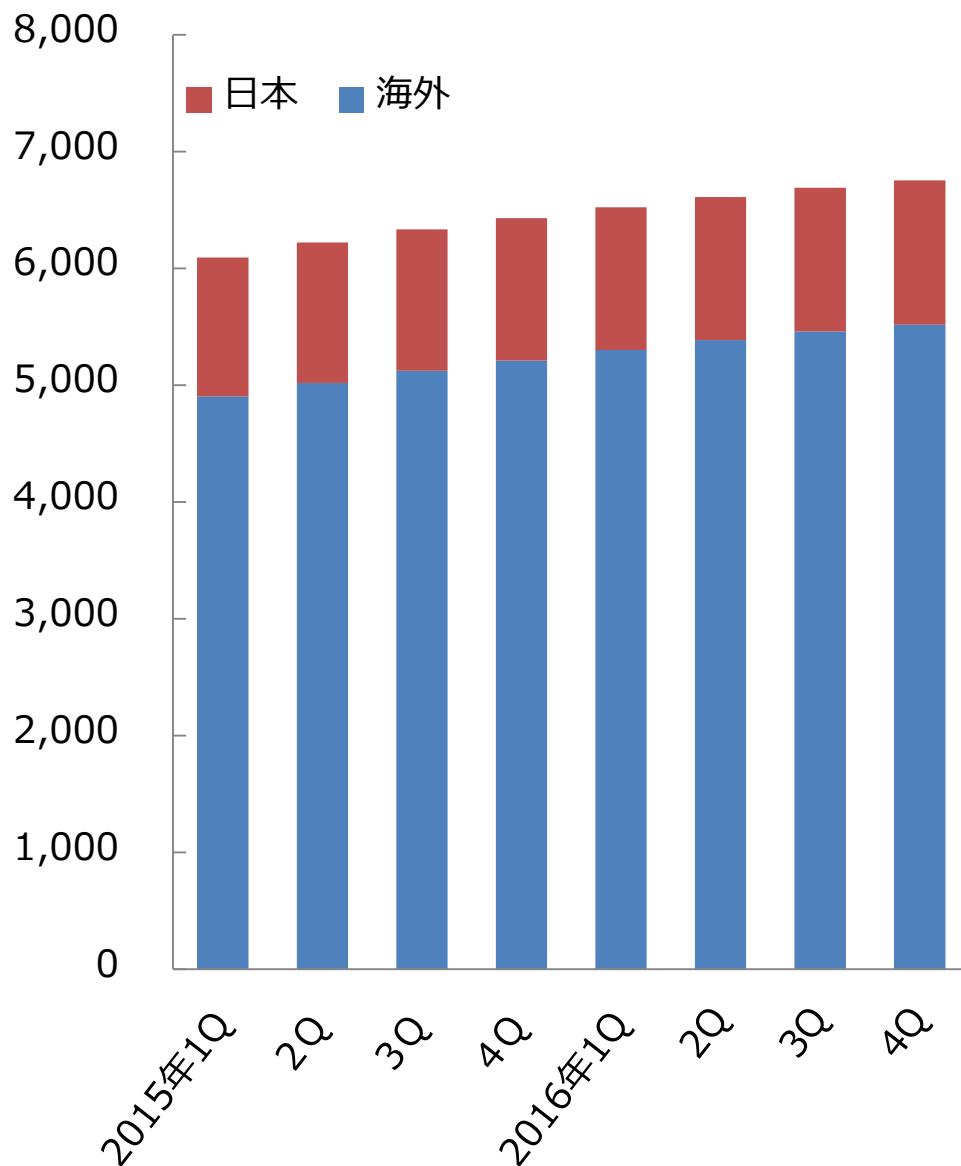
- ✓ セゾン情報システムズ社とIoT分野で協業
同社製品「HULFT IoT」にグローバルサインの
電子証明書を提供

認証サービスで、フィンテック事業に参入

ブロックチェーン上における認証サービスの実証実験を開始
→12月15日より、検証に参加希望企業の募集開始

サービス概要	<ul style="list-style-type: none">✓ ブロックチェーン上での取引相手確認サービス✓ 現状では、不規則な記号の羅列で取引相手の確認を行っているが、取引先名を確かめることが可能となる <p>例えば… オンラインショップがお客様から送金を受ける際に、店名を表示して誤送金を防止する等の効果を期待</p>
サービスを提供するメリット	<ul style="list-style-type: none">✓ 国内シェア 1 位の認証ビジネスの知見と国内企業唯一の認証局保有の強みを活用できる✓ 今後拡大するブロックチェーン市場への参入

単位：件



順調に代理店数を拡大

2016年第4四半期

日本： 1,237件

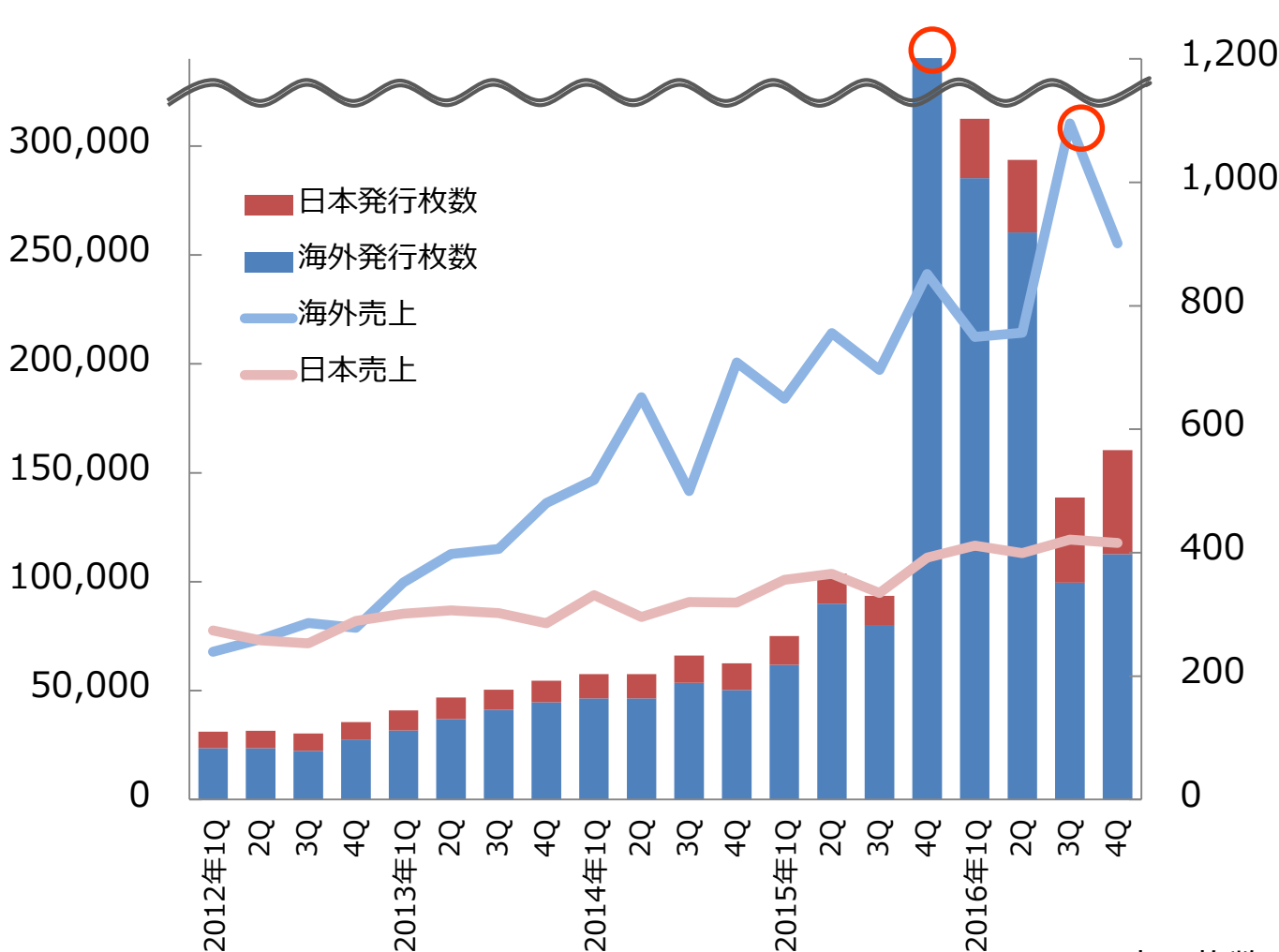
海外： 5,516件

合計： 6,753件

SSLサーバ証明書発行枚数推移

発行枚数
単位：枚

売上高
単位：百万円



- ✓ 海外はライセンスディール※の要因で売上と発行枚数の相関関係が不一致
- ✓ 2015年4Qは大口ライセンスディールの影響で発行枚数増大
- ✓ 2016年3Qは海外においてワンショットの大口案件が発生したため海外売上が急増

2016年第4四半期

日本： 47,757枚

海外： 112,707枚

合計： 160,464枚

※一定の枚数まで自由に発行できる契約形態

3. 事業概況

I A M※ 事業

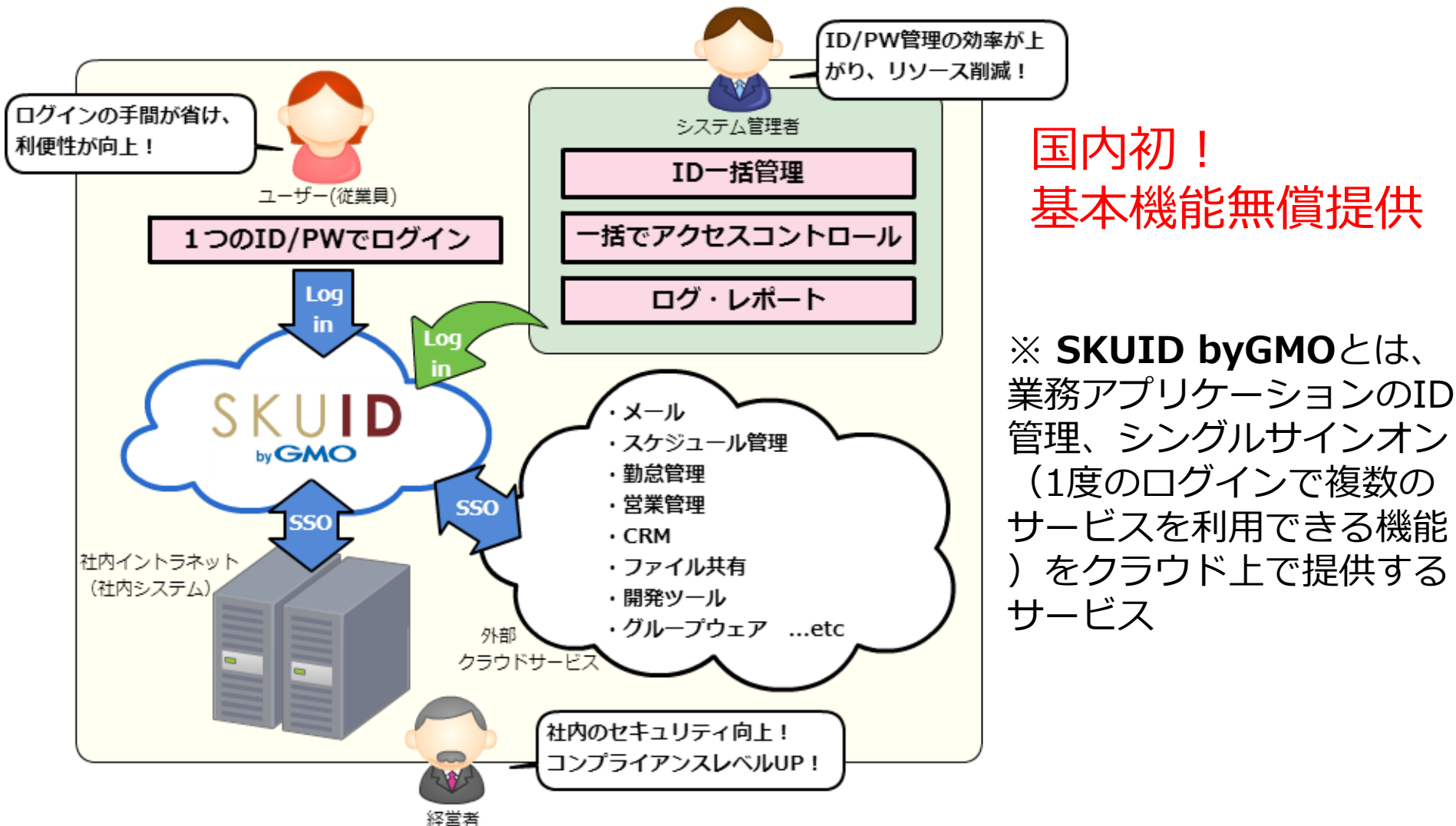
I D管理により、利用者の入り口を守る

※ IAMとは、複数アカウント(ID)を統合管理し、さらにアクセスの範囲や権限なども詳細に設定し認証するシステム

GMO GlobalSign Oyの全株式を譲渡

- ✓ 本年9月にGMOグローバルサイン社と英国グローバルサイン社が保有する同社の全株式を譲渡
- ✓ **当該売却により、年間約2.8億円ののれん償却費用の削減**
- ✓ 今後、GMOグローバルサイン独自でIAM事業を展開
- ✓ 技術、販売及びサービス等において同社との関係を維持するため、同社発行の新株予約権を無償取得

- ✓ IDaaS「IDアクセス管理クラウド SKUID byGMO」※正式版提供開始
- ✓ 現在、**250超**のサービスが「SKUID」で1つのIDとPWで接続可能

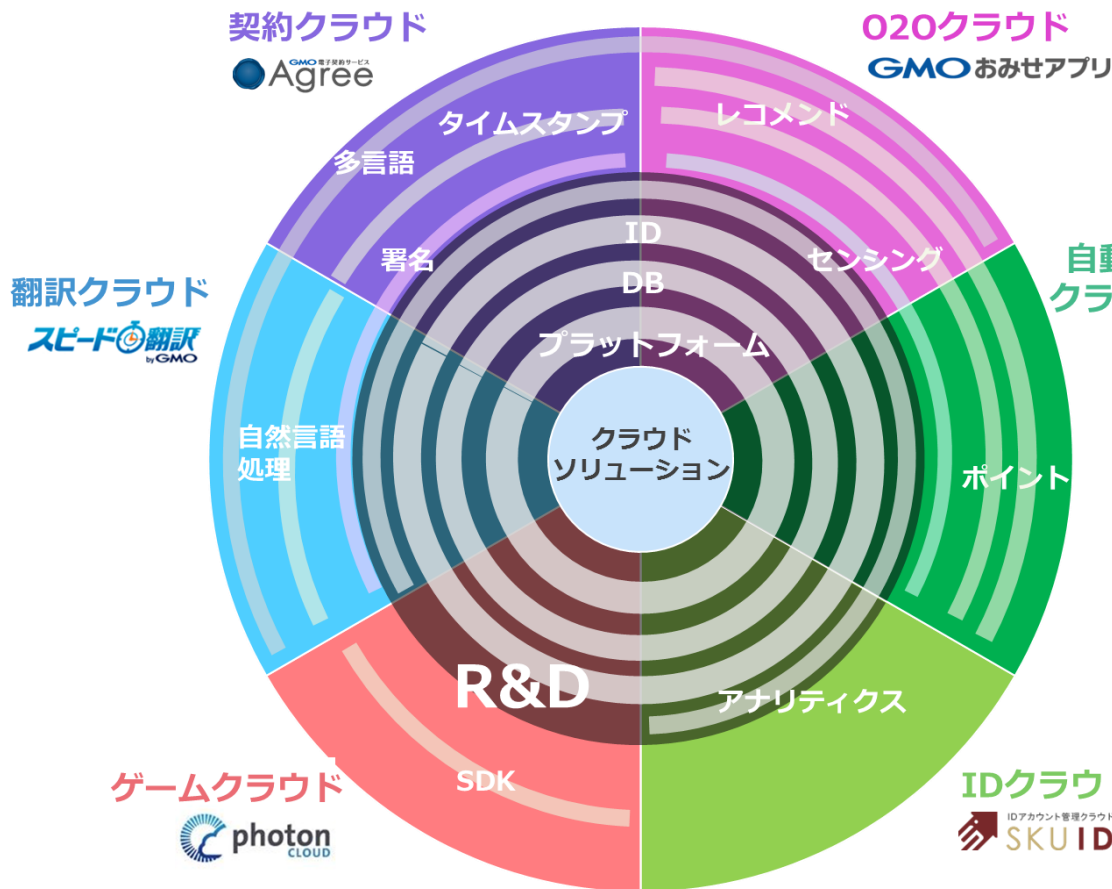


3. 事業概況

ソリューション事業

企業のクラウド利用を支える・便利にする

特化型クラウドソリューション



- ✓ **開発体制の一本化**
R&D連携でスピードUP
- ✓ **ファンクション共通利用**
シナジー効果でコスト圧縮
- ✓ **ソフトウェアの柔軟なスクラップ&ビルド**
選択と集中
強いところはより強く
- ✓ **プラットフォームへのデータ蓄積&活用の循環**
プラットフォームビジネスの基盤構築

クラウドとセキュリティ事業の実績ノウハウを活かした新サービス

電子契約とは、既存「紙+印鑑」の契約形態に代わる
「電子データ+電子署名」による新契約形態



契約の新しいスタンダードを

電子署名法に準拠した万全の証拠力を持つ電子契約サービスを、0円から提供。
契約関連業務をワンストップで管理し、契約業務の効率化や印紙税の大幅削減を実現。

電子契約サービス Agreeを導入するメリット

- ✓ 印紙税**課税対象外**。郵送費や契約書締結及び**管理コストの削減**
- ✓ 電子認証事業を行う**当社のSSL証明書**を提供することで高い安全性を実現
- ✓ 競合他社と比較し**利便性の高い**サービス

「電子契約サービス」、実印版に加え**認印版**の提供開始



月額 1 万円～



基本無料



基本無料

国内初 実印・認印・管理の
オールインワン電子契約サービスを実現

- ✓ **従来の電子契約サービス「実印版」**：
実在認証を強化、相手方もアカウント・電子証明書の取得が必須
- ✓ **電子契約サービス「認印版」**：
新たなサービスとして、相手方にメールアドレスさえあれば利用可能



オンラインゲームを
簡単、低コストで制作するための
システム環境を提供するサー
ビス



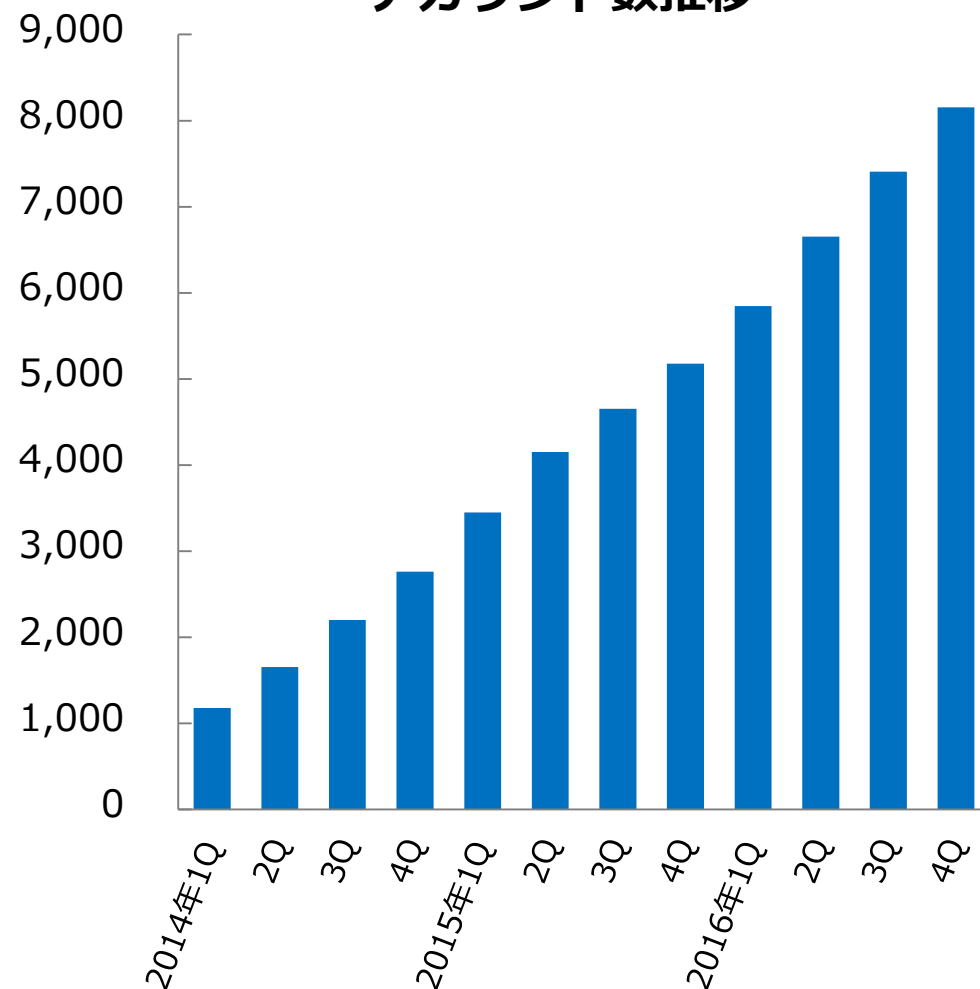
導入企業さま一例



CEDEC2016アワード、エンジニアリング部門優秀賞を受賞！ ネットワークゲーム開発の低コスト化を実現したことへの評価

累計数(人)

アカウント数推移



新規サービス

- ✓ 11月にゲームソフトウェア開発キット「Marmalade (マーマレード)」独占使用権を取得



- ✓ 2017年1月モバイルゲームアプリ向けセキュリティサービス「AppSealing (アップシーリング)」を日本国内で販売開始



国内最大級 O2O集客支援アプリの制作サービス

オンライン上での販促活動により実店舗の購買活動促進アプリの制作



画面イメージ

GMO おみせアプリ の特徴

モバイル会員証機能

紙の会員カードからスマホの会員カードに！

スライド写真

アプリ内ページへの移動、好きなサイトへのリンクが可能

メイン機能

スタンプや来店履歴等の集客につながる便利機能充実

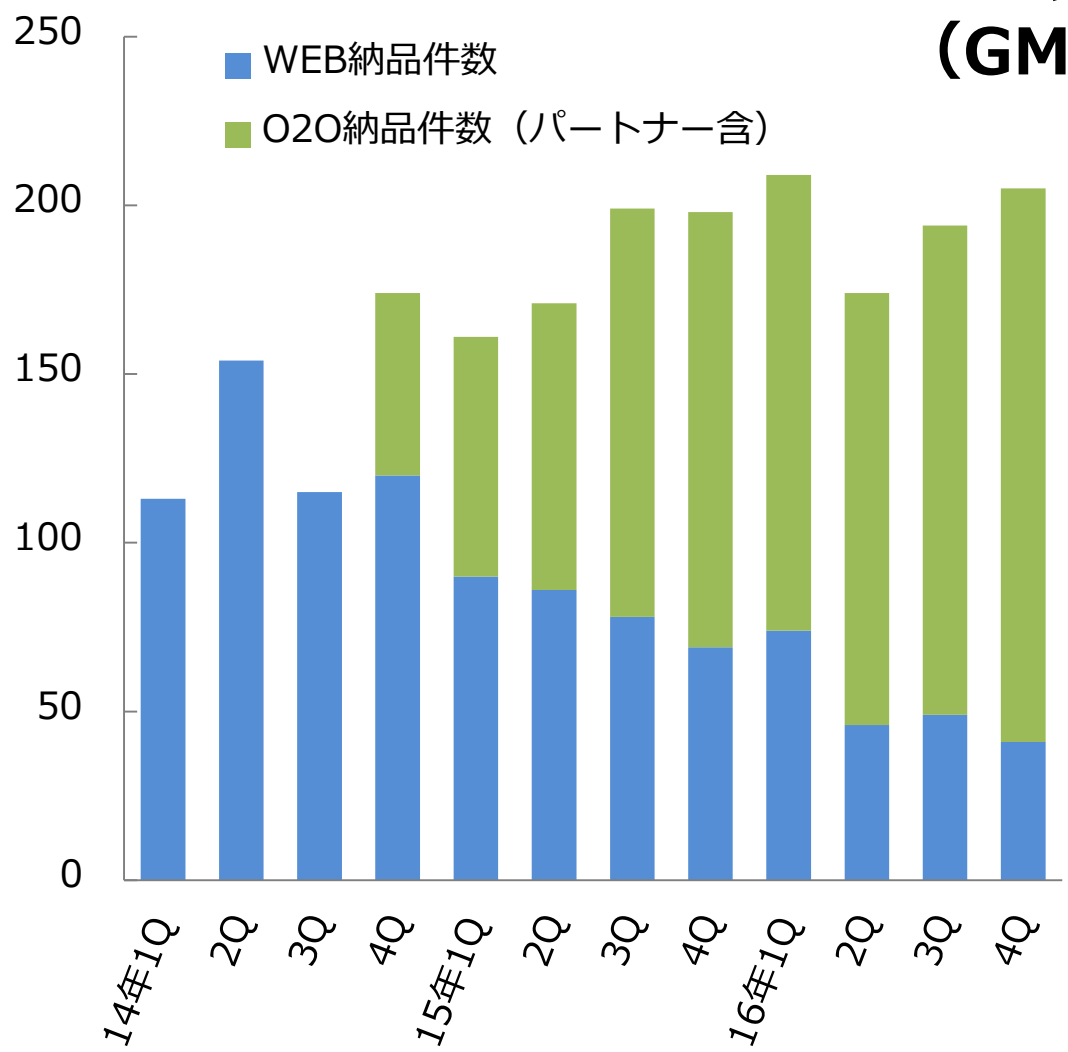
基本機能

予約、決済、地図、Beacon等よく使う機能を表示

- ✓ 国内のダウンロード数 **50万件を突破!!** (海外 10万件)
- ✓ 国内導入店舗数 **1,200店超** (海外 850店超) (2016年12月末)

納品件数の推移

納品件数 単位：件



O2Oアプリ (GMOおみせアプリ) 順調増加

2016年第4四半期

HP制作サービス

売上高： 28百万円

納品件数： 41件

O2O制作サービス

売上高： 55百万円

納品件数： 164件



いつでも簡単、便利に依頼できるクラウド型の翻訳サービス

通常の翻訳会社ではありえないスピード感のあるサービス

- ✓ 翻訳の「申込から納品まで」を**24時間 365日いつでもご利用可能**
- ✓ 国内外の厳選された各分野の専門知識を持ったプロの翻訳者の高品質な翻訳

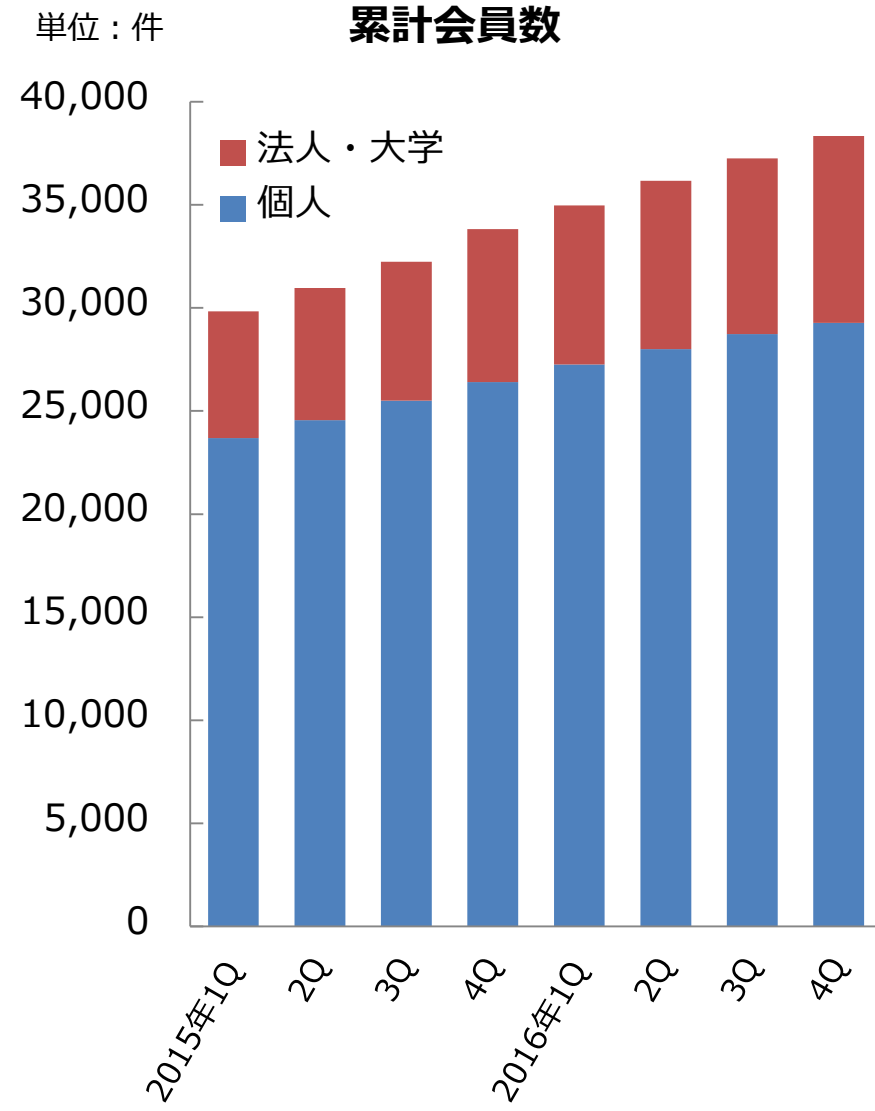
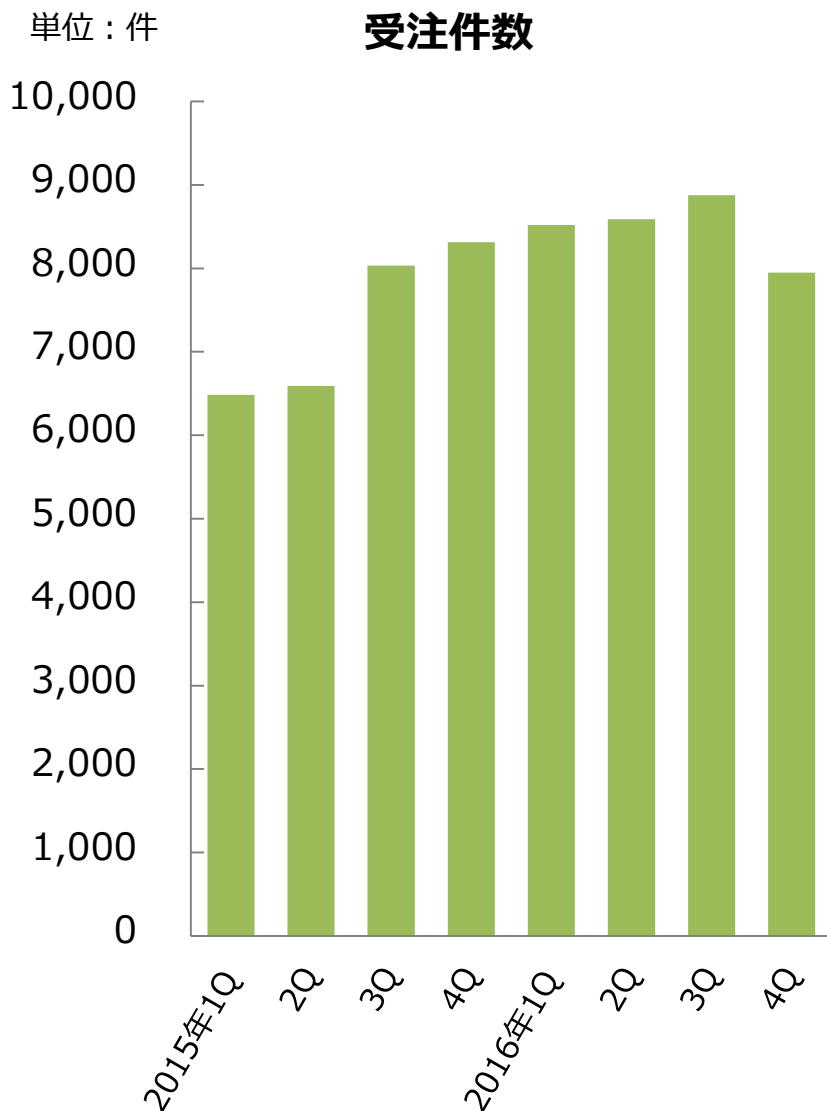
翻訳原稿を入力して、**その場ですぐお見積り**。最短30分からのスピード納品

- ✓ 翻訳したい原稿を**コピー&ペーストするだけで、見積りと納期を算出**
- ✓ 翻訳料はリーズナブルな従量制（最低価格：100円・税別）
- ✓ 翻訳者を指名して、翻訳依頼可能

“越境ビジネス拡大”、“2020年東京オリンピック開催”で今後の翻訳需要は、拡大すると想定

受注件数及び会員数の推移

“越境”需要に注目した販売促進



GMO CLOUD

インターネットを通じて
お客様のビジネスと社会の笑顔を支える
グローバルカンパニーへ



当資料に関するお問合せ先

GMOクラウド株式会社

社長室 IR担当 池谷、松下

TEL : 03-6415-6100

E-mail : ir@gmocloud.com または

<https://ir.gmocloud.com/contact/ir/>

よりお問合せください。

【IRメールマガジンの登録はこちらから】

<http://ir.gmocloud.com/ir/mail/>